

## 第4学年 総合的な学習の時間学習指導案

- 1 日 時 令和4年11月11日(金) 第5校時
- 2 場 所 4年生教室
- 3 学 年 第4学年 男子5名 女子5名  
自閉症・情緒障害特別支援学級 女子1名 計11名
- 4 単元名 「182ステーションで、いいもの売り隊！」  
～神石のいいところ売ります！広めます！～
- 5 単元について

### ○児童観

本学級の児童は、3年時の総合的な学習の時間「神石高原町のすてきをつたえよう」の学習で、神石高原町の特産物及びマスコットキャラクターとなっている四仙人について調べたり、町花のヒゴタイを植えたりした。そして、これらの学習活動を通して、「神石高原町の魅力を他の地域の小学3年生に伝えたい」という思いをもち、尾道市立高須小学校と尾道市立瀬戸田小学校の2校との交流を行っている。

本学級の児童に、総合的な学習の時間についてのアンケートを行ったところ、結果は次の通りとなった。

		よくあてはまる	あてはまる	ややあてはまる	あてはまらない
		4月			
1	身の回りのものやできごとから自分が調べてみたいことをみつめています。	4	7	0	0
2	地域の方のために自分にできることを考えています。	4	2	5	0
3	友達や、地域の方がもっている悩みを解決したり、願いをかなえてあげたりしたいと思います。	5	4	1	0
4	解決しようとする課題について何をすればよいのか、何が使えるかを考えることができます。	6	4	1	0
5	課題を解決するために、進んで資料を集めたり取材をしたりしています。	6	4	1	0
6	課題を解決するための情報を集める前に、どのような方法だと必要な情報を集めることができるのかを考えています。	6	5	0	0
7	たくさんの資料から、さまざまな情報を集めることができます。	2	6	3	0
8	集めた情報から、必要な情報を選んで、調べたことをまとめることができます。	5	2	4	0
9	調べてわかったことを、わかりやすい方法(図、グラフ、表など)を考えてまとめています。	3	4	4	0
10	調べたことを比べたり、仲間分けしたりして何が分かるのかを考えています。	5	4	2	0
11	友達と話し合うなどして、自分の考えを深めたり、広げたりしています。	5	6	0	0
12	発表する相手を考えて、自分の考えとその理由を明らかにして、分かりやすく伝えるように発表を工夫しています。	5	4	1	1

13	自分の考えを進んで伝えています。	5	5	1	0
14	友達と話し合う時、お互いが納得のいく考えをつくろうとしています。	4	7	0	0
15	学習の振り返りをするときには、「どこまで分かったか」「学習方法でうまくいったことや失敗したことなどの理由」を考えています。	3	6	1	1
16	学習の振り返りをするときには、「もっと考えてみたいこと」「もっと調べてみたいこと」「もっと工夫してみたいこと」などを考えています。	8	3	0	0
☆	自分の住んでいる地域のことが好きです。	8	1	1	1
課題発見力	地域の中から、問題を見つけています。	4	4	2	1
課題解決力	自分と相手の考えを比較し、まとめたり伝えたりしています。	3	6	2	0
振り返り力	学習計画に照らし合わせて振り返っています。	6	4	1	0

アンケートの結果から、☆「自分の住んでいる地域のことが好きです。」に対しては、二人の児童が否定的に回答している。そして、2「地域のために自分にできることを考えています。」という問いに対して45%の児童が、否定的な回答をしている。また、7「たくさんの資料から、さまざまな情報を集めることができます。」8「集めた情報から、必要な情報を選んで、調べたことをまとめることができます。」9「調べてわかったことを、わかりやすい方法（図、グラフ、表など）を考えてまとめています。」の項目において、肯定的な回答が少ないことから、必要な情報を収集したり分類したりして、課題を解決することに苦手意識をもっていることが分かる。

3年生の学習により育まれた「より多くの人に神石のよさを伝えたい」という思いの下、4月から、「182ステーションで、いいもの売り隊！」～神石のいいところ売ります！広めます！～プロジェクトをスタートさせた。プロジェクト1では、神石のよさが伝わるパンを売る活動を行った。意欲的に意見を出し合い、協働して準備を進める姿が多く見られたが、商品開発をしていく段階では、思いだけが先行し、実際の商品にはつながらないことに悩んでいた。他チームからのアドバイスを受け入れたり、地域の人に相談したりしながら、神石のよさを伝えるという目的を達成する商品へと改善し、販売を実現させることができた。当日パンは完売し、児童の満足度も高かったが、プロジェクト1の振り返りの際、今回の利益は野菜代金の780円だけだったことに着目する児童がいた。次のプロジェクトではもっと利益を上げたいという意見が出てきたため、どうやって利益を出すか話し合いを行った。その結果、プロジェクト2ではこの780円を元手とし、自分たちで作成した商品を販売していこうという方向性で進みつつある。

#### ○単元観

4月当初、児童にどんな活動をしていきたいか問いかけたところ、おみやげを作る、ヒゴタイを広める、神石のいい場所を知らせる、特産物を作る、神石のグッズを作る等の意見が出てきた（課題発見力）。3年生の活動で行ったことや、単元終末に182ステーション（道の駅）の方と話した内容が強く心に残っているようであった。

本校の地域にある道の駅さんわ182ステーションは、特産物を販売する産直市や地元食材を味わえる182 CAFE、自然食レストラン等からなる施設である。

本単元では、「182ステーションで、いいもの売り隊！」～神石のいいところ売ります！広めます！～として神石高原のよさを伝える商品開発や作成を行う。そして、1年間を通して、道の駅で出張販売等を行いたいと考えている。商品化という活動を仕組むことで、自分たちの好みだけでなく、神石高原町のよさを伝えられる商品であることや、相手を意識し、児童が主体となって学習活動を進めていくことが期待できる。また「何を伝えるか」「対象の人はだれか」「地域のよさを生かせるものはないか」という目的に応じた整理・分析をしたり、話し合った企画をプレゼンしたり、PR活動を行ったりする表現活動等、探究的

な学習のプロセスを組み込むことも可能である。本単元の学習において、必要な情報を身近な人から集めたり、それぞれで考えた企画を検討したりすることは、日常的な協働的な学習の場や、他者とコミュニケーションを取る際に生かすことができる（課題解決力）。また自分たちだけの力ではできないことも、お店の人たちの力を借りることで商品化が可能になることを知り、外部の力を活用することの重要性を学ぶ機会ともなる。これらの学習を通して地域の人や施設と深く関わり、改めて神石高原町のよさに気づき、愛着もわいてくると考える（振り返り力）。

○指導観

本単元では、児童の「神石のすてきなものを道の駅で広めたい」という思いをもとに『4年生 182 プロジェクト』を立ち上げる。そして、おみやげを企画したり、野菜やグッズを作ったり、実際にPRしたり販売したりする活動を展開していく。ゴールが見知らぬ人達への販売ということで、うまくいかないことも多々生ずると思うが、失敗から原因を考え、改善していくという姿勢で取り組ませたい。

まず、児童の「やりたい」という気持ちを大切に、課題を設定していく。その際、3年生時の学習内容を想起させるとともに、保護者、地域の人々の思いや願いを調査する活動を行う。そして、神石高原町のよさをPRするために自分たちにどんなことができるか、売るものを準備するために必要なことは何か等を考え、計画を立てられるようにする。

本単元では、野菜の育て方やお菓子のレシピの相談等、自分たちの願いを実現するために情報を収集する活動を仕組み、具体的に方法が確定したものから取り組ませる。準備の段階では、神石のよさを伝える等の条件を設定して話し合い活動を行うとともに、PRの方法等も考えさせたい。実施後の振り返りでは、新たな課題に気付かせ、次の取組に生かしていく。

単元の最後には、これまでの取組を保護者に伝え、お世話をしてくださった人に感謝の会を開き、お礼の気持ちを伝えるとともに、自己の成長を記録に残す。自分たちの活動について、地域の方から感想をもらうことで、自分たちのがんばりが地域を元気にすることにつながることに気付かせたい。

販売することは、実際には難しい場面が多々あると思うが、児童どうしがお互いにコミュニケーションを取りながら、比べる、分類する、焦点化する、多面的に見る等の思考力を身に付け、他の人の力も借りながら、何とか願いを実現しようとする力を育てたい。

課題発見力	3年生の時の学習を振り返らせ、身近な「もの」を学習対象にする。
課題解決力	自分たちのしたいことを計画し、協働的に検討しながら実行させる。
振り返り力	視点を決めて振り返りをさせたり、ルーブリック評価を取り入れたりする。

6 単元の目標

神石のよさを伝える商品開発や販売活動を通して、神石には豊かな自然を生かした特産物や産業があることや、それらを支えている人々がいることを理解し、商品の企画や制作、販売の方法や内容を考えるとともに、自己のよさや成長に気づき、地域に対する思いを深めることができるようにする。

7 本校で育てようとする資質・能力

課題発見力	地域の中から問題を見つけている。
課題解決力	自分と相手の考えを比較し、まとめたり伝えたりしている。
振り返り力	学習計画に照らし合わせて、振り返っている。

8 単元の評価規準

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
本校で付けた い資質・能力		課題発見力・課題解決力	振り返り力
単元 の 評 価 規 準	<p>① 神石のよさを伝えるために道の駅で販売することに向けて、友達や地域の人達と協力しながら課題解決に取り組む必要があることを理解している。</p> <p>② 神石の特産物や販売する商品の準備の仕方を知るために、適切な方法で調査を実施している。</p> <p>③ 特産物や地域の人々の思いや取組を理解し、神石のよさを伝えるものを売りたいという願いをもつことは、自分達が探的に学習していることの成果であることに気付いている。</p>	<p>④ 来見地区の特産物や自然のよさから、何ができるか考えている。(課題発見力)</p> <p>⑤ 販売のために必要な情報について、多様な方法の中から効果的な手段を選択している。</p> <p>⑥ 収集した情報を比較・分類することで、「神石のよさを伝える」ことにつながるものとして整理しながら、解決に向けて考えている。</p> <p>⑦ 「神石のよさを伝える」ことにつながる活動について、よりよい考えを検討し、自分の言葉でまとめている。(課題解決力)</p>	<p>⑧ 地域の特産物や自然のよさについての課題を設定し、計画を立て取り組んだことの価値に気付き、自分の意思で探的な活動に取り組もうとしている。</p> <p>⑨ 自他の考えを生かしながら友達と協働して取り組もうとしている。</p> <p>⑩ 地域のよさを知り、地域のために自分にできることを考え行動することを通して、自分と地域との関わりを見直そうとしている。(振り返り力)</p>

9 単元におけるルーブリック（思考力、判断力、表現力等⑦）

A	B	C
「神石のよさを伝える」ための販売活動について、よりよい考えを検討し、友達や地域の人と協力して考えた活動を実践しようとしている。	「神石のよさを伝える」ための販売活動について、よりよい考えを検討し、考えた活動を実践しようとしている。	「神石のよさを伝える」ための販売活動について、よりよい考えを検討することができず、活動を実践しようとすることができない。

本時におけるルーブリック（思考力、判断力、表現力等⑥）

A	B	C
収集した情報を比較・分類したり、プロジェクト1の反省を考慮したりしながら、「神石のよさを伝える」ことにつながるものとして解決に向けて考えている。	収集した情報を比較・分類することで、「神石のよさを伝える」ことにつながるものとして整理しながら、解決に向けて考えている。	収集した情報を「神石のよさを伝える」ことにつながるものとして整理することができず、解決に向けて考えることができていない。

10 主な学習活動と評価規準（全70時間）

	主な学習活動	評価規準
<p>四月</p>	<p>【課題設定】</p> <p>○単元の課題設定をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年生での学習を振り返る。</li> <li>・自分たちがやりたいことは何か話し合い、課題を設定する。</li> </ul> <p>・182STではいろいろな人が買ってくれる。</p> <p>・3年生のときに、182STに見学に行ったとき、「みんな考えて作って売って見たら？」と言われた。</p> <p>・買ってくれた人が喜んでくれる。</p> <p>等の意見が出た。</p> <p>年間テーマ</p> <p>「182ステーションで、いいもの売り隊！」～神石のいいところ売ります！広めます！～</p>	<p>④来見地区の特産物や自然のよさから、何ができるか考えている。 (課題発見力)</p> <p>3年生の時にしたことを振り返りながら自分たちがやりたいことを出し合っ て、何がしたいのか3つ挙げ、順位を決めた。</p> <p>「お土産を作って売りたい！」「野菜を作って売りたい！」「グッズを作って売りたい！」</p>

1 学期【課題設定 1】

何を売ると、神石のよさが伝わるのだろう。

【情報収集 1】

- 神石にはどんなよいものがあるか調べる。
  - ・こんにやく・ハチミツ・ヒゴタイ・ヤマボウシ・
  - ・神石牛・トマト・米・ブドウ・自然がたくさんある
  
- 売りたいものを考える。
  - ・おみやげ
  - ・野菜
  - ・キャラクターの入ったキーホルダー
  - ・食べ物（お菓子）
  - ・こんにやく
  - ・ジャムやケチャップ
  - ・スムージー
  - ・ハチミツ入り飲み物
  
- 売りたいものについての具体的な情報を収集する。
  - ・実現できるか詳しい人に聞いてみる。
  - ・インターネットで調べる。
  
- 設定した課題について調べる方法を考える。
  - ・どんなものを売るとよいか考える。
  - 「おみやげ」「手作りグッズ」「特産物を加工したもの」「植物」「育てた野菜」等



【整理分析 1】

- 収集した情報を整理・分析する。
  - ・調べたことを整理してまとめる。
  - ・実現できそうなものを協議して選択する。
  - ・取り組みやすいと判断したものから、実行に移す。

⑤販売のために必要な情報について、多様な方法の中から効果的な手段を選択している。

売りたいものを出し合った後、分類し、できるもの、できないものを検討、できそうなものから実行してみることにした。

②神石の特産物や販売する商品の準備の仕方を知るために、適切な方法で調査を実施している。

①神石のよさを伝えるために道の駅で販売することに向けて、友達や地域の人達と協力しながら課題解決に取り組む必要があることを理解している。

⑥収集した情報を比較・分類することで、「神石のよさを伝える」ことにつながるものとして整理しながら、解決に向けて考えている。

五月

六月

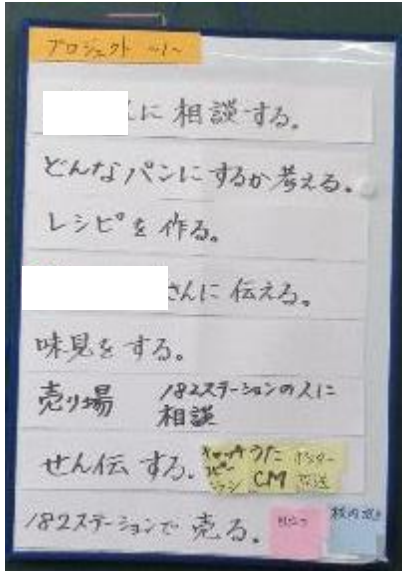
【まとめ・表現1】

売るものを用意しよう

○プロジェクト1「パンを売ろう」

パン屋さんにアイデアを提案し、つくってもらう。

- ・アイデアを出し合い、パン屋さんに提案する。  
神石のよさが伝わるパンにするためには、どうすればよいか考える。



プロジェクト1「神石のよさを伝えるパンを売る」ための計画を立てた。  
この計画が、プロジェクト2で生きることになる。

Aグループ	Bグループ	Cグループ
夏野菜カラフルデニッシュ	神石高原ヘルシーカレーパン	桑の実ラスク

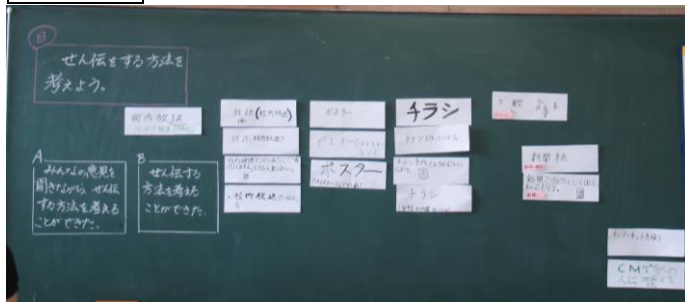
自分たちが考えたパンの絵を描いたり、紙粘土で作ってみたいして交流し合い、改善していった。

- ・販売方法を考える。  
商品の名前  
PRの仕方  
広告等  
売り方

パンを実際に作っていただく、『オオカミブレッド』さんに、自分たちが考えたパンを説明してアドバイスをもらったり、実現可能かどうかを教えてもらったりした。

七月

PRの仕方



- ・歌 ・新聞 ・インターネットを使う ・ポスター
- ・放送 (校内・町内) ・チラシ ・よびかけ ・のぼり

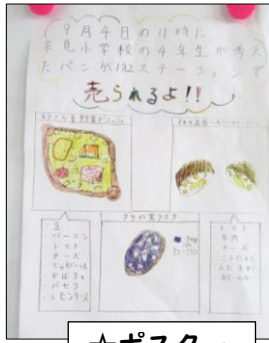
⑨自他の考えを生かしながら友達と協働して取り組もうとしている。



⑧地域の特産物や自然のよさについての課題を設定し、計画を立て取り組んだことの価値に気付き、自分の意思で探究的な活動に取り組もうとしている。



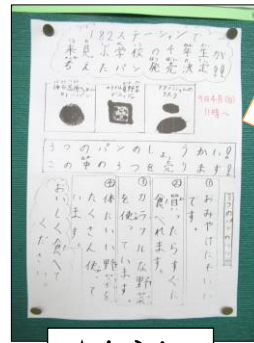
これまで上の学年がやっていた方法を参考にして、やってみようとチャレンジした。それ以外の方法も新たに挑戦していった。



☆ポスター



☆新聞



☆ちらし

大量印刷した後、日付と時間を書き忘れたことに気づき、100枚近くのチラシにみんなで書き加えた。



☆ホームページ



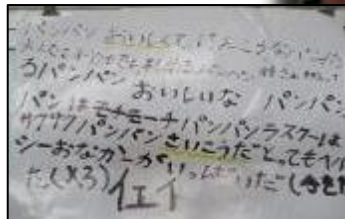
☆ページング放送



☆歌&ダンス



☆のぼり



☆よびかけ

「おみやげにもいいですよ」「こんなパンがありますよ」「神石の特産物が入っていますよ」「ラスクはさくさくでおやつにいいですよ」「ヘルシーな野菜がいっぱい入っていますよ」「ぼくたちが育てた野菜が入っています」等を言った方がいいんじゃない？



子供達が畑で育てた野菜なども使ってくださいるのです。  
 たくさんの人たちに、神石のよいところがちりばめられたおいしいパン  
 を食べてもらおうと、宣伝もいろいろと書えています。  
 校内だけでなく校外の人たちへも届くように、ポスターやちらし以外  
 にも、インターネットを活用したり放送したり・・・。  
 かわいい歌までできました。

よおいらしパンの歌  
 作 山 藤 聖  
 山 内 美 花  
 (一番) パン パン おいしくて  
 けんこうな パン パン  
 大人でも子供でも  
 楽しめる パン パン  
 (二番) 神さん物入ってる  
 パン パン おいしいな  
 パン パン は  
 もちもち パン パン  
 (三番) ラスクはサクサク  
 パン パン 農産物  
 とってもヘルシー  
 おなかがいっぱい  
 イエイ (はくしゅをきいた)

学級通信で保護者にも周知し、保護者の理解と協力を得ながら、実行に移していった。

当日は、182ステーションまで送迎をお願いします。(保護者の方のご都合がつかない場合はご連絡ください。)  
 ○場所 販売所の入り口入ってすぐ右側  
 ○集合時刻 午前10時45分  
 ○服装 制服(ぼうしは、いりません)  
 ○持参物 水筒 ハンカチ ティッシュ



解散は、売り切れ次第となります。(予定は11時～12時30分)  
 お手数をおかけします。どうぞよろしくお願いいたします。



【実行】

売ってみよう

○実際に販売する。

とってもおいしいですよ～  
 お土産にもいいですよ～  
 中で売ってますよ～  
 地元の野菜を使っていますよ～  
 いらっしゃいませ～



まずは、練習どおり、呼び込み。

自分たちで作った歌も、ダンスを付けて披露した。



見事、  
完売！

残り少なくなったから、みんなで売りに歩こう！

【課題の設定2】

○プロジェクト1を振り返る。

④オオカミアプレートゲームに仮受ろしめんびきしよう

⑤今日のぼくはAです。理由はアイデアが5回も出したけど全ま出してどれもアドバイスが足りなくておちこんでいったけど四仙人にしばられるすぎず考えてみるとみんなから「食べたい。めっちゃいい。」という声があったのでもううれしかったです。

・アイデアを5回も出したけど、どれもアドバイスだらけで落ちこんでいたけれど、四仙人にしばられすぎず、考えてみると、みんなから「食べたい。めっちゃいい。」という声があったとても嬉しかった。

⑥パンをつくるためにとにかくくろうすとして物をうつのはとても大変だと知りました。おとすねおーんてんあのれんじゅうは、何回と何回もごおおしすもいったりかちとぎとしまったりしたけど、こうちゃん先生のアドバイスもきいてやってみると今日でんわをやることかじぎとてもううれしかったです。あとチームのことでぎょうかもしたりかいせんたりしましたぎょうかはホームページを作るときこうたいもしたりしたことです。かいせんは、何回もおかおした川にもじのいろをくふうしたい学のおおきさをくふうしたところかぎょうかひがみばったことかホームページのこ

・パンをつくることの大変さを知った。  
・お願いの電話をする練習は、何回も何回も校長先生にダメ出しをもらっても「出直します」とアドバイスを聞いてやって、電話をすることができて、とても嬉しかった。

- 次の課題を発見する。
  - ・次にできることは何だろう。
- プロジェクト1の反省を生かし、次に売るものを決定する。

9月14日

プロジェクト2は何を売る？

- ・やっぱり神石の良さが伝わるものに♡
- ・買いたいなと思ってもらえるものに♡

プロジェクト2の企画を立てよう。

必要な物、決める

神石の物、地元産の物、手に入る物、買いたい物、売りたい物

自分たちで考えたパンを売ることができて、感激したよ。あの体験をもう一度やりたい！作りたい！売りたい！今度は、野菜でもうけたお金をもとに、自分たちで作ったものを売ってみたいなあ。

材料代	
小麦粉	200円
卵	100円
バター	100円
砂糖	50円
塩	50円
ドライフルーツ	50円
その他	50円
合計	700円

「野菜代をせいきゅうしてください」と、オオカミブレッドさんに言われて、考えました。調べたり相談したりして、780円と決定。この金額でよいか、電話でおたずねすることに・・・。

「野菜代」として『オオカミブレッド』さんから780円をいただいた。話し合いを続けているうちに、「自分たちだけで作ると、もうかるお金が増えて、次のプロジェクトに使える。」という考えに至った。そして、次のプロジェクトに向けて、「やりたい！売りたい！」という気持ちがだんだんと高まっていった。

<十月の運動会で>  
 「野菜を売ろう！」は、「3つの売りたい！」のひとつ。  
 グランドの端でテントをたて、無人販売を行った。



収穫した野菜を使って、パンの材料にしてもらい、使われない野菜は、無人販売で保護者に買ってもらった。





できるだけ、児童が自分たちの力で準備をしていた。運動会の演目の途中の休憩では、放送を使って、無人販売していることを保護者に知らせ、呼びかけた。

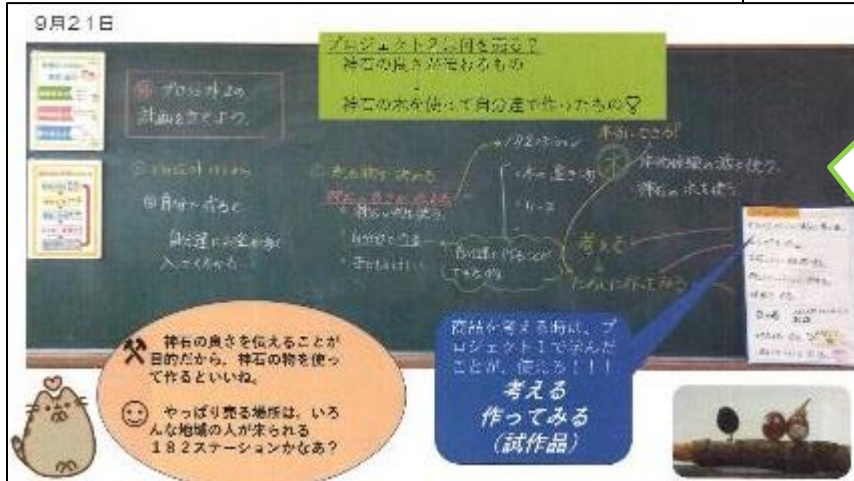
○プロジェクト2「グッズを売ろう」

テーマは、「神石のよさが伝わるもの」

【情報収集2】

○作成に必要な情報を集める。

⑤販売のために必要な情報について、多様な方法の中から効果的な手段を選択している。

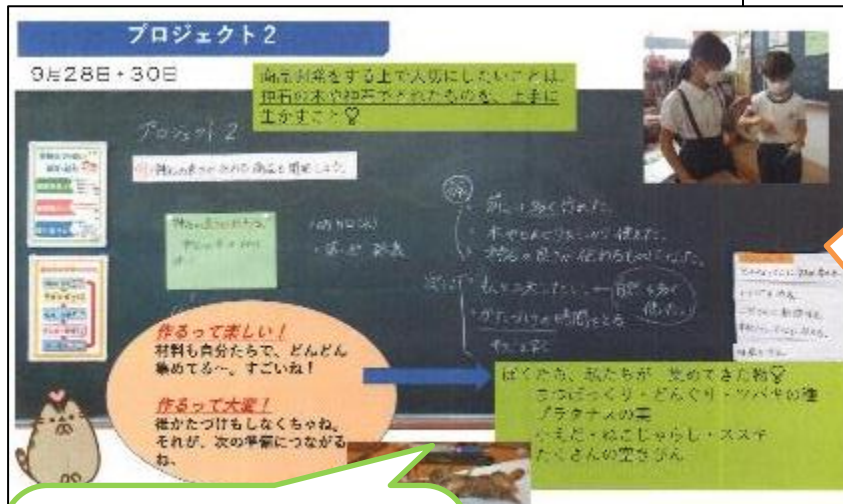


「神石のよさを伝えるために販売する。」↓  
「神石の自然の物を使った小物を売りたい。」という意見がでた。(児童作文より)

【整理・分析2】

○神石のよさが伝わるかという視点で、これまで収集してきた情報を整理・分析し、活動の改善をする。

⑥収集した情報を比較・分類することで、「神石のよさを伝える」ことにつながるものとして整理しながら、解決に向けて考えている。



プロジェクト2決定後、児童がプロジェクト2の材料(木の枝や木の実等)を自ら持ってくる姿が見られるようになった。

サンプルで商品を作ってみた。作るって楽しい! 作るって大変! 私たちは、自分たちが作った物を売る大変さや楽しさを感じた。(児童作文より)

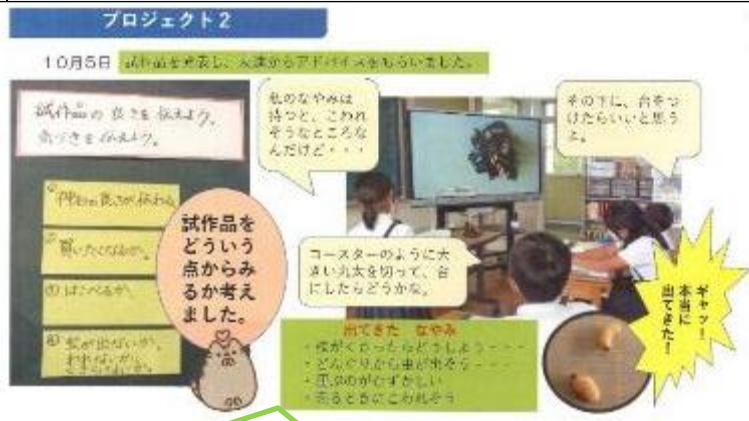
プロジェクト2は、プロジェクト1ほどうまくはいかないと指導者も思っていた。失敗を味わわせることも大事だが、児童が一生懸命頑張っている姿を見ると、ひどい失敗はさせたくないとも感じていた。



十月

【まとめ・表現2】

○商品を作成する。



- ⑨自他の考えを生かしながら友達と協働して取り組もうとしている。
- ⑧地域の特産物や自然のよさについての課題を設定し、計画を立て取り組んだことの価値に気付き、自分の意思で探究的な活動に取り組もうとしている。

試作品をお互いに発表し合い、次の4つの視点で友達からアドバイスをもらった。

- ① 神石のよさが伝わるか
- ② 買いたくなるか
- ③ 運べるか
- ④ 虫がでないか  
割れないか  
腐らないか

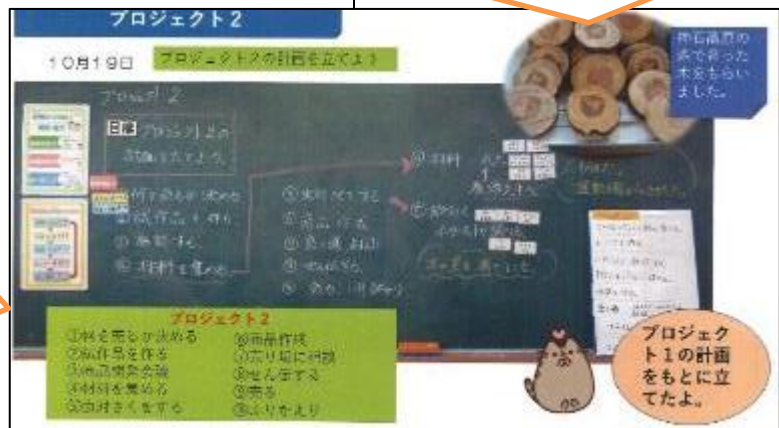
なやみごとの相談

くりむしが出るか出ないかの問題だ。みんなは調べ始めた。どんぐりは1分～5分ゆでたらいいらしい。そして、先生に言ってみた。さっそく先生が、どんぐり達をゆでてくださった。すると、くりむしは、出なくなった。

(児童作文より)

本物体験学習のコースターづくりで使用した神石高原町産の木を、小物の土台にしようと考え、教頭先生に協力していただいて、木を切って準備してもらった。

プロジェクト1の計画がここで生きた。  
プロジェクト2は、1のときより児童が一度体験している分、何をすればよいかもはっきりしており、スムーズに進んだ。



みんなは、目標を忘れずに、真剣に作り始めた。みんな、お客さんが（買いたいなあ）と思ってくださるように作っていた。（児童作文より）





十一月

**プロジェクト2**  
10月28日～ 神石のよさを伝えるためにいろいろなことをしよう。

かのきんの家でめあてが少し変わったよ。

やっぱり神石のよさを伝えるのが大切だよね!

みんなにアドバイスをもらって、教頭先生に大きな丸太を切ってもらって台にしたよ。うまくいったよ! 相だんしてよかったあ。

みんなで 知恵を出し合い、教頭先生のカも借りて、問題をかいつくすことができました。力を合わせるって本当に大事!

「作品を持つとこわれそうなんだけど、どうすればいい?」みんなは考えた。するとAくんが「作品の下にコースターみたいに丸太を切った物をつければいいと思うよ。」と言った。Bさんは、今度やってみることにしたそうだ。(児童作文より)

作品作りは順調に進み、どんどん商品も増えてきた。「宣伝方法を考えたい」「いろんな人を買ってもらえるように宣伝を考えたい」・・・と次の活動に関する振り返りが出てきた。

**プロジェクト2**  
11月8日 神石のよさを伝えるためにいろいろなことをしよう。

計画も進んでいます。商品が増えてきています。

今日の振り返りでは、「買う人にアピールできるようにせん伝を頑張りたい」「いろんな人を買ってもらえるようにせん伝を考えたい」「たくさん買って…」と、次の活動について考えている人が何人もいました。

売る物の決定→紙作品作り→商品開発会→材料集め→虫たいじ→商品作り(ほぼ)ここまでたどり着いたよ!

○販売方法を考える。(本時)

- 商品の名前
- PRの仕方
- 広告等
- 売り方

**プロジェクト2**  
11月16日 せん伝のじゆんぎをしよう。

せん伝方法 決定!  
・ホームページ ・チラシ  
・放送(校内・町内) ・ポスター  
・歌・おどり ・のぼり

せん伝する上で、気を付けないといけないことは?

- 必要なことをきちんと入れる
- うその情報はダメ
- まちがった言葉を使わない
- 買おうとする気持ちを出させるように
- 相手の気持ちを考える

「そうそう! プロジェクト1の行入れ忘れていて大変だったね!」

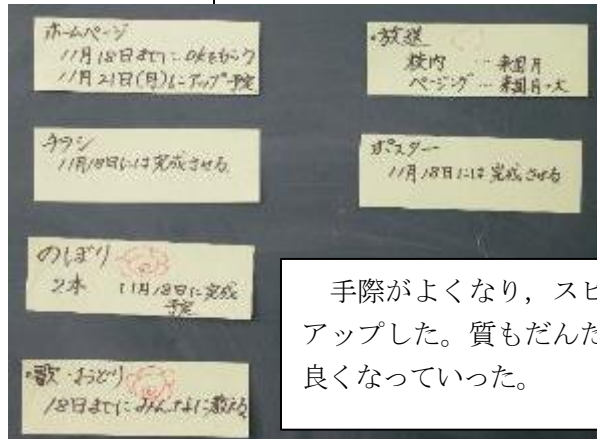
日時・場所 売る物

うその情報は、ダメ。買おうとする人の気持ちを出させるように。相手の気持ちを考えることが大事。(児童作文より)

私は、歌や踊りを考えるのだ。Cちゃんたちと。まずは、みんなに歌に入れてほしいキーワードを聞きに行った。すると「神石高原町は、入れたらいいよ」そして、また考えた。こうしよう。思いついた。「じん、じん、じんせき」歌ってみた。「いいじゃん」「すごーい」(児童作文より)

☆PR 方法は前回より中身が深化！！

☆のぼりづくり



手際がよくなり、スピードアップした。質もだんだんと良くなっていった。

のぼりづくりは、手慣れたものである。自分たちでどんどん作っていき、あっという間に2本ののぼりを作成した。

☆ホームページ



私は、プロジェクト1と一緒に、ホームページを作ることにした。まず、商品の写真をとった。理由はかわいい商品の写真をのせることで、買いに行きたくなるような気持ちにするためだ。そして、ホームページだと、たくさんの人に見てもらえるからだ。  
(児童作文より)



☆ちらし



プロジェクト1のちらしは、印刷をすると絵が分かりにくくなった。また、日付や時間を書き忘れた失敗から、本物の写真をきれいに印刷して配付するために、パソコンでちらしを作成した。

保育所・幼稚園・小学校全児童・職員に配付した。

前回の失敗や取組が次の取組に生きている。

児童も「こっちの方が分かりやすいなあ」とつぶやいていた。

☆ポスター



ポスターもチラシ同様、前回の手描きとは違い、パソコンで作成した。各学級や校内に掲示してもらったり、授業研究に来られた町内の先生に渡したりして広めることにつながった。



前回同様、学級通信で保護者にも周知し、協力をしていただいた。

【実行】

売ってみよう

○実際に販売する。



プロジェクト1は20分弱で完売したが、今回の販売時間は2時間である。歌とダンスで呼び込むことは難しいということで、リコーダー演奏で、注目を集めようという作戦を立てた。音楽や毎日の朝の会で練習しているため、レパートリーも多く、効果的だった。

ちらしの効果か、保護者だけではなく、町内に勤務されている先生方も来てくださっていた。ちらし、ポスター、ホームページ、ページング放送のいずれかの方法で知り、来てくださった方もおり、「これ楽しみに来たんよ。」と喜んでくださるお客様もいた。児童は、知っている人だけにお知らせするのではなく、今回実行した方法の効果を実感していた。





まず、リコーダーを演奏した。家の人も買ってくれた。後半になって、積極的に見知らぬ人に話しかけることができるようになった。勇気を出して話しかけても、断られることが多く、心が痛くなった。だけど、力を合わせてリコーダーを吹いてお客さんと呼んだり声をかけたりすると、たくさんの方が買ってくれた。そして、予定の時間ぎりぎりに全部売れた！私はとてもうれしかった。

次は何をしようかな。（児童作文より）



みんなは、からをやぶり、本気でがんばった。話しかけた。逃がさない。絶対に逃がさない。そして、みんなはあきらめなかった。（児童作文より）

○プロジェクト2を振り返る。



プロジェクト1を生かして素早くできた。  
役割分担できたから、早くできた。  
アドバイスを聞いて一つひとつ丁寧に作れた。  
買う人の気持ちを考えて行動できた。  
いろいろな人に協力してもらったからお礼がしたい。  
(振り返りより)

### 教室環境づくり

総合のまとめを教室の背面に掲示している。  
常に目にすることができるようにしている。  
総合とともに、学校生活を送っている。





気持ちをこめて小物を作ろう。  
手紙を書いてお礼の気持ちを伝えよう。  
お礼の小物をわたすときに、言う言葉を考えたい。(振り返りより)

<学級通信より>  
2学期。心に残ったことやがんばったことを漢字を使って振り返ってみました。

さん「破」  
わたしは182ステーションでパンや小物売る時に、はすかしいと思う自分のからを破って、お客さんに「どうですか?」と聞いたから。学校でも、全校の前でもからを破って発表したから。

小物販売のことを振り返って「破」という漢字を選んだ児童がいた。児童の成長が窺える。



この児童は、児童会役員選挙の選挙管理委員になり、全校の前で、しっかりとした司会を務めた。

一月

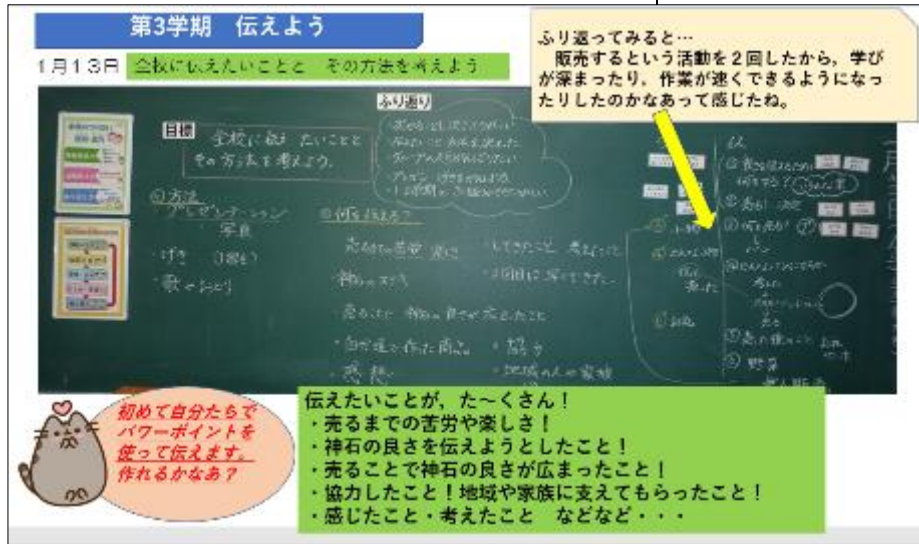
3学期

○考えた活動を実践する。

**伝えよう**

全校に伝えたいこととその方法を考えよう。

④特産物や地域の人の思いや取り組みを理解し、神石のよさを伝えるものを売りたいという願いをもつことは、自分達が探究的に学習していることの成果であることに気付いている。



- ・ プレゼンを分担する。
- ・ 分担したプレゼンを作る。
- ・ プレゼンを完成させる。
- ・ プレゼンをチームで見合っってアドバイスをし合う。

二月



**プロジェクト2**





	<p><b>【まとめ・表現】</b>                  ○活動を通して、神石のよさをみんなに伝えることができたのかを振り返る。                  ・ポートフォリオしていたものをまとめ、感想を書く。                  ・付いた力や成長したこと、生活に生かしたいこと等の視点に沿って振り返りをする。</p> <p><b>【実行】</b>                  ○取り組んだプロジェクトを保護者に伝える。                  ○お世話になった方に感謝の気持ちを伝える。</p>	<p>⑦「神石のよさを伝える」ことにつながるための活動について、よりよい考えを検討し、自分の言葉でまとめている。（課題解決力）</p> <p>⑩地域のよさを知り、地域のために自分にできることを考え行動することを通して、自分と地域との関わりを見直そうとしている。                  （振り返り力）</p>
--	--	---

11 本時の学習

(1) 本時の目標

自分たちのグッズを売るための宣伝方法について、考えることができる。

(2) 本時の評価規準

収集した情報を比較・分類することで、「神石のよさを伝える」ことにつながるものとして整理しながら、解決に向けて考えている。

(3) 準備物

〔指導者〕 黒板に貼るシート、プロジェクト2計画書、プロジェクト1の反省を書いたシート

(4) 学習の展開 (45/70 時間)

学習活動	指導上の留意事項	評価規準 (評価方法)
1 学習計画を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までの活動を振り返らせ、今日の活動の見通しをもたせるとともに、ゴールを確認させる。</li> <li>・資質・能力のカード及びルーブリックを提示し、自分のゴールを意識させる。</li> </ul>	
2 めあてを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今日のめあてを児童に考えさせる。</li> </ul>	
自分たちのグッズを せん伝するための方法について考えよう。		
3 今日の学習の流れを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童と本時の流れを確認し、活動の意欲を高める。</li> </ul>	

<p>4 3グループに分かれ、PR方法について考える。</p> <p>3つのグループに分かれる。 Aグループ（3人） Bグループ（4人） Cグループ（4人）</p> <p>5 全体で、グループで考えたアイデアを検討する。</p> <p>①グループで考えた方法を提案する。</p> <p>②質問・意見交流をし、お互いの商品の理解を深める。</p> <p>③出された方法を目的に合わせて検討する。</p> <p>6 振り返り</p>	<p>・様々な方法を出すことが、目的であることを確認する。</p> <p>・出された考えを仲間ごとに分類した上で吟味する場を設定する。</p> <p>・プロジェクト1の振り返りを見ることができるようしておく。</p> <p>・本時の学習を振り返る。自己評価をする。</p> <p>・次時からの見通しを立てておく。</p>	<p>○収集した情報を比較・分類することで、「神石のよさを伝える」ことにつながるものとして整理しながら、解決に向けて考えている。（発言・行動・ワークシート等）</p>
--	--	---

12 板書計画

課題	自分たちのグッズを、せん伝するための方法について考えよう。		
学習の流れ	校内放送	ちらし	
①グループに分かれて方法を考える Aグループ Bグループ Cグループ	ポスター		
②全体で交流する ③よりよいせん伝方法について決める ④ふり返り			
ループリック			